

## (5) 生活圏における広域調査

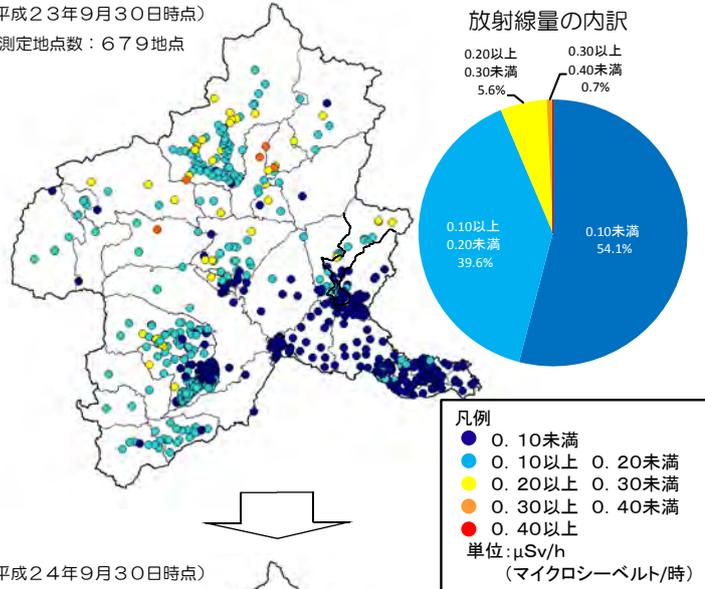
県及び市町村では、携行型放射線測定器（サーベイメータ）等を用いて、生活圏を中心として、公園、学校など、地域を代表する地点で空間放射線量率を定期的に測定しています。

生活圏においては線量が高い所を中心に市町村等による除染が進められており、着実な線量の低下が認められます。

### 生活圏における広域調査結果

#### 第 1 回

（平成23年9月30日時点）  
測定地点数：679地点



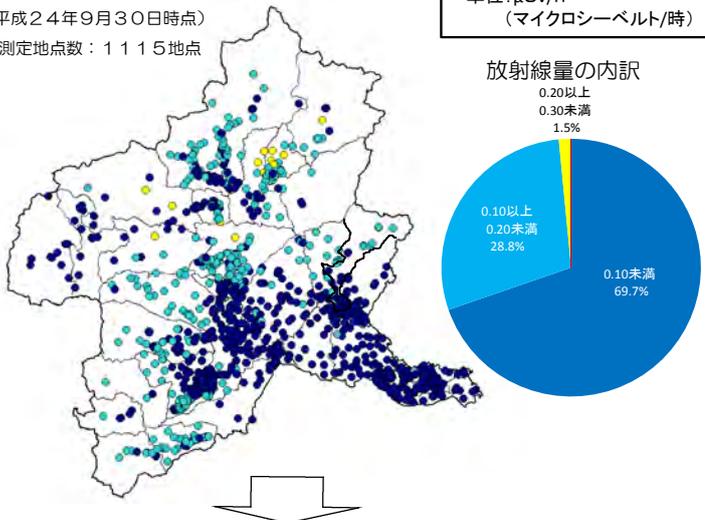
毎時0.2マイクロシーベルト以上0.3マイクロシーベルト未満の地点は全体の5.6%（38地点）、毎時0.3マイクロシーベルト以上0.4マイクロシーベルト未満の地点は0.7%（5地点）でした。

県中央及び東毛地域の平野部では、全ての地点で毎時0.2マイクロシーベルト未満でした。

なお、毎時0.4マイクロシーベルト以上の地点は確認されていません。

#### 第 2 回

（平成24年9月30日時点）  
測定地点数：1115地点

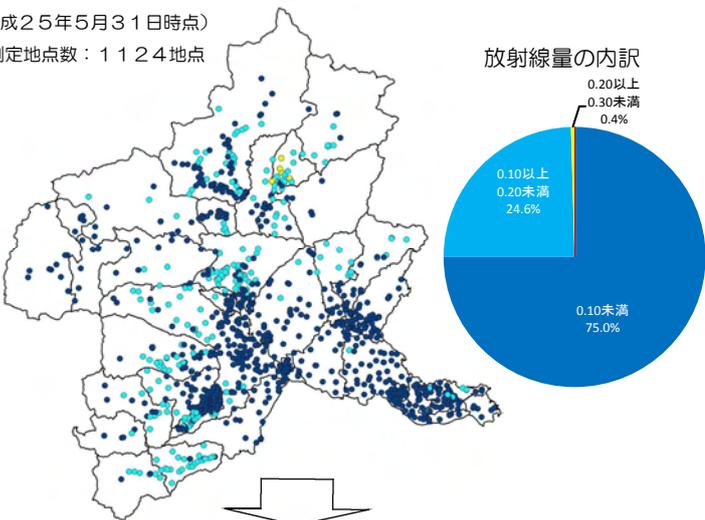


1年前に5地点あった毎時0.3マイクロシーベルト以上0.4マイクロシーベルト未満の地点は無くなり、毎時0.2マイクロシーベルト以上0.3マイクロシーベルト未満の地点は、全体の1.5%（17地点）に減少しています。

1年前と比べ、生活圏における空間放射線量率は着実に低下しています。

#### 第 3 回

（平成25年5月31日時点）  
測定地点数：1124地点



毎時0.2マイクロシーベルト以上0.3マイクロシーベルト未満の地点は、全体の0.4%（5地点）に減少し、生活圏の空間放射線量率は、さらに低下してきています。